

6月 生活目標

◇廊下は静かに 右側を歩こう

6月の生活目標は、「廊下は静かに右側を歩こう」です。
廊下・階段の疾走については、4月当初から指導を続けているところでしたが、なかなか改善されない場面が見られます。「外遊びに早く行きたかった」「トイレに行ったら時間がなくて…」等、子供たちからは様々な理由が聞こえてきます。しかし、やはり廊下は安全であるべき場所です。もしもの危険を子供たちと考え、「廊下は歩く」が当たり前として浸透するよう、全職員で指導を続けてまいります。



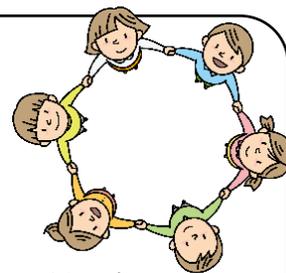
◆年4回「生活アンケート」を実施します。

6月、9月、11月（仙台市いじめアンケート）、2月の年4回、児童対象の生活アンケートを実施いたします。ねらいは、①各学級・学年の児童の様子を把握し、一人一人の指導・支援に生かすこと、②学校全体の傾向を把握し、問題行動やいじめに対する未然防止を図ることです。定期的にアンケートを実施することで、自分の思いを表出するのが難しい児童が、「書く」ことで自分の思いを伝える機会を確保する意味もあります。

■児童の記入する生活アンケートの形式

Q1 5・6月中の自分のことで、当てはまる数字に○印をつけましょう。

- | | |
|-------------------------|---------|
| 1 特にいじめに関係することはない → Q3へ | } → Q2へ |
| 2 誰かにいじめられている（いじめられていた） | |
| 3 誰かをいじている（いじめていた） | |
| 4 誰かのいじめを見た | |



Q2 そのいじめについてくわしく書きましょう。（※Q1で2、3、4のどれかに○をつけた人）

Q3 いじめに限らず、誰かに相談したいことがあれば書きましょう。

* いじめに関係する人、相談がある人は、先生がお話を聞きます。

Q4 あなたの周りでがんばっている友達はいませんか？また「ありがとう」を伝えたい友達はいませんか？ぜひ見つけて書きましょう。

<参考資料>

◆「いじめ」とは・・・(定義)

一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているものをいう。

◆指導のポイント

- ①いじめかどうかはいじめられた人の立場で考える。
- ②いじめを放置して見ている人（傍観者）を減らしていく。
- ③「いじめはしない・させない・許さない」

◆いじめになる行為の例

- 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる
- 仲間はずれ、集団による無視をされる
- 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする
- ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする
- 金品をたかられる
- 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする
- 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたりさせられたりする
- パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷等の嫌なことをされる 等

左記の参考資料に基づき、いじめの定義について確認・指導した上で、アンケートに取り組みます。された方が「嫌だ」と感じる行為が「いじめ」になり得るという考え方を子供たちと確かめながら、“相手意識”を大切に行動できるようにしたいと考えています。

アンケートをして終わりという考えではなく、把握したいじめ事案の内容や傾向等について考察し、対応策の改善を継続していきます。児童の回答はファイルに綴り、経過を分析します。学校全体の認知件数等の結果については、今後の生徒指導便りでお伝えしていく予定です。目を通していただければ幸いです。